



「第5回 日本サービス大賞」内閣総理大臣賞はナビタイム「Japan Travel」 13都道府県から33件の「革新的な優れたサービス」が受賞

(公財)日本生産性本部 サービス産業生産性協議会(代表幹事:小林 喜光(公財)日本生産性本部 会長)は、12月9日、「革新的な優れたサービス」を表彰する「日本サービス大賞」の第5回受賞事例を発表しました。最優秀賞である内閣総理大臣賞をはじめ、経済産業、総務、厚生労働、農林水産、国土交通、地方創生の各大臣賞、JETRO理事長賞、優秀賞および審査員特別賞の全33件を選出しました。

日本サービス大賞への応募は、日本国内の事業者であれば業種や営利・非営利を問わず応募することができます。今回も、日本全国の幅広い業種から768件の応募がありました(2019年募集の第3回は762件、2021年募集の第4回は749件)。受賞したサービスは、情報通信・AI・ビッグデータなどの先進技術を活用したサービス、人口減少社会における子育てや医療・介護、働き方、地域活性化などの課題に取り組むサービス、多様性を尊重する社会づくりに貢献するサービス、災害に立ち向かうサービスなど多種多様です。一方、共通の特徴として、サービスの送り手と受け手の「価値共創」という観点で優れたサービスイノベーションを実践しています。当協議会では、優れた受賞事例を発表するだけでなく、これらの特徴を学びやすい形で広く普及していきます。

内閣総理大臣賞 株式会社ナビタイムジャパン 訪日観光ナビゲーションアプリ「Japan Travel by NAVITIME」

【サービスの概要と特徴】

訪日外国人観光客向けに、観光情報から旅行プラン作成・予約、経路検索、旅行体験共有まで全工程で役立つ機能を1つにまとめたアプリ。13言語に対応し、月間ユーザー数は200万ユーザーにのぼる(全訪日観光客の約5割に相当)。日本全国あらゆる公共交通機関(電車・飛行機・バス・フェリー等)の時刻表に対応し、きめ細かな情報を提供。そこから得られたデータを分析し、地域の観光資源を発掘するなど地域活性化に寄与する。

【特に評価されたポイント】

- 旅行に必要な機能と情報をワンストップに提供する優れた価値提案
- 地域や観光事業者と連携協力し、新たな観光資源の発掘に貢献
- 新たな体験価値を創造する共創型プラットフォーム



【「第5回 日本サービス大賞」応募および審査の概況】

- 応募数: 国内のサービス提供事業者より768件
- スケジュール: 応募期間 2024年6月3日(月)~7月23日(火)
審査期間 2024年7月~ 書類審査(一次、二次)、現地審査(オンライン、訪問)
受賞発表 2025年12月9日(火)
- 日本サービス大賞委員会(審査委員会): 委員長 村上 輝康(産業戦略研究所 代表)ほか有識者 計10名
- 審査基準: サービスの高度化と産業の発展を先導する「革新的な優れたサービス」であること。
 1. 顧客から見たサービスの良さ、2. 「サービスをつくりとどけるしくみ」の良さ、
 3. 成果、4. サービスイノベーションを通じた社会の発展への寄与
- 表彰: 内閣総理大臣賞、経済産業大臣賞、総務大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、国土交通大臣賞、地方創生大臣賞、JETRO理事長賞、優秀賞、審査員特別賞 計33件
- 主催: (公財)日本生産性本部 サービス産業生産性協議会(SPRING)

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

公益財団法人日本生産性本部 サービス産業生産性協議会「日本サービス大賞」事務局 (湯浅、手塚)

〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12 TEL: 03-3511-4010 E-mail: service-award@jpc-net.jp